

令和6年度 高千穂町立高千穂小学校 評価書

A:十分達成(80%以上) B:おおむね達成(70%以上~80%未満)
C:やや不十分(60%以上~70%未満) D:達成不十分(60%未満)

重点目標①【更なる学力向上及び特別支援教育の充実に取り組みます】

| 評価指標 評価項目・数値目標 | 自己 評価 | 結果の考察及び改善策等 |
|---|----------|---|
| 1 学力向上プランの確実な実施 2 分かりやすく、児童が安心して取り組むことができる学習環境の整備 ○学級経営【生徒指導の3機能「自己決定」「自己存在感」「共感的な人間関係】 ○ 望ましい学習態度の育成「学習規律」 ○ ICTの活用「ICTの利点を生かした授業づくり」 ○ 特別支援教育の視点による個に応じた授業づくり「ユニバーサルデザイン」 ○ 特別支援教育の支援体制の充実「支援員との連携」「教職員の相互支援」 | B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童は意欲的に学習に取り組むことができている。また、児童は学習の中で「わかった」「できた」と実感できていたことが多い。今後も、児童がわかる・できる授業づくりを目指して、個に応じた学びをさらに進め、授業改善を図りたい。 ○ 授業の中に、積極的にICTを活用することはできている。しかし、学年及び学習内容によっては、ICTの利点を生かした授業づくりが難しいときもあった。 ○ 特別支援教育の支援体制の更なる工夫・改善が必要である。 |

評価 AAABBBB⇒B

学校運営協議会委員コメント

- 児童の学習能力の向上にICTの活用などによる積極的な改善・努力がなされている点が評価される。児童の授業中における受講態度から見ても積極的に授業に取り組んでいる姿勢が見て取れる。各教室前の廊下に掲示されている各授業に関する子供達の成果報告からも伺い知ることができた。
- 児童によって差があるのではないかと思う。ICTについても使いこなせている子とそうでない子がいるのでは?また、支援が必要な児童に目がいきがちだが、そうでない児童のがんばりも見逃さないようにして欲しい。
- 端末機器などの利用が全教科にわたって促進されており、一人一人が学びの主人公として主体的な人材育成がなされている。
- (子どもアンケート)「まったくできなかった」「わからなかった」が、ほぼ2%以下だったのが評価できます。
- 学習態度優秀。どのクラスも先生の言う事をしっかり聞いている。
- 以前と違い、急速に変わっていく教育機器の活用、先生方も大変だと思っている。電子黒板等の素晴らしい事、内容が分かりやすいと思うし、授業の理解も良くなるはず。反面、いろいろなデメリットも考えられる。子供達の想像力の低下等、あるのではないか。いずれにしても、今の段階、先生方は良くやられ、取り組まれている。
- 先生方につきましては、子供が楽しく学校に登校して授業を受けていますので感謝しています。その反面、先生方のご負担も多いのではと思います。人材確保など対応していただければと思います。

学校運営協議会での協議

- ICT活用の個人差(職員:積極的に使うことで慣れる。児童:個に応じた手立てを講じる。)
- ICT機器を用いた学習指導:デジタルとアナログの融合(それぞれの良さを生かした指導)
- グーグルアース、グーグルレンズの利用:利点を生かしながら必要に応じて利用を検討する。
- 専科等の指導の充実:CRT検査の結果を見ると効果がかなり上がっている。

重点目標②【心の教育をさらに充実させます】

| 評価指標 評価項目・数値目標 | 自己 評価 | 結果の考察及び改善策等 | | |
|---|----------|---|--|--|
| <p>1 学級経営「自己肯定感」「認め合い」「自己有用感」…「信頼・安心・存在感」</p> <p>2 道徳教育や人権教育、言語環境の充実、思いやりのある子どもたちの育成</p> <p>3 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あじさいためお(あいさつ)」「はしみあいな(廊下歩行)」 ○不登校やいじめの早期発見、早期解決(サイン、問題発生→共有、迅速な対応) ○読書活動の充実…興味のあることから、本を手に取る習慣化 ○本のもり、読書通帳・Yomokka!(よもつか)・読み聞かせ(ボランティア) ⑤ 緑化活動(栽培活動、草抜き、落ち葉の清掃等)を通した情操教育 | B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導連絡会やサポート連絡会において、全職員で情報交換を行い、いじめや悩みへの対応を適切に行なうことができている。さらに、ケース会を行うことで、個に応じた支援を積極的に行っていきたい。また保護者や関係機関と更に連携していきたい。 ○ あいさつや正しい学校生活等、ほぼ身についてできているが、個人差が大きい。不十分なことについては全職員で共通理解のもと、共通した指導をしていく。 読書活動は十分推進され、個人差はあるものの本に親しむ児童が多くなった。 ○ 道徳的な心情を育成するため、授業の充実はもちろん日頃から道徳的実践力を培う指導の充実に努める。 | | |
| 評価 | | AABBBBB⇒B | | |
| 学校運営協議会委員コメント | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校は生徒の読書力向上に向けては、非常に意欲的で、その成果が確実に上がってきている点が評価される。本校の生徒は、登下校時には町内の人達への挨拶を欠かさず、町民からもとても好感を持って迎えられている。道徳的な心情の育成は、最近の急速に進化していくネット環境下では難しいが、道徳心向上教育の一環として是非工夫していってほしい。 ○ 特に高学年を中心に委員会活動、ボランティアをがんばっていると思う。「やらされている」のではなく、自ら考え進んで行動する様子が見られるので、これからも継続してほしい。読書活動も積極的に楽しんでいる児童が多いと思う。 ○ 読書習慣は学びの基本である。漫画本も多様な内容のものが出されており、読書の面白さを体感するには必須だと考える。 ○「保護者や関係機関と更に連携していきたい」⇒継続的な連携を期待します。本に親しんでいる子どもが増えているような気がします。 ○ 朝のあいさつ、良くできている。 ○ いじめの問題は、やはり早くみつける事で情報交換が大事だと思っている。後の対応、解決は個々によって時間もかかると思うし、大変だと思う。いじめの発生しない環境づくりも大事だと考える。あいさつは、やはり大人の方から大きな声であいさつするのが良い。小さい声で、また黙って通る子がいたが、日数はかかったけれどどちらからあいさつをしていたら、いつの頃からかこの頃は子どもの方から元気な声であいさつをしていくようになった。不登校の子どもが目立つという事だが、増えてきている原因は何か。難しい心の問題だが、先ずは子どもとの率直で丁寧な対応から話し合いをし、原因を探っていくべきか。 ○ あいさつについては、高学年で出来ない児童が多い気がします(もちろん出来る児童も多いですが)。先生方だけにまかせず私達PTAとしても協力していく必要もあると考えています。 | | | | |
| 学校運営協議会での協議 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書活動の充実:本校は読書に係る取組が充実しているので、読者に親しむ児童が多い。 ○「あいさつ」の状況:ずいぶん良くなっている。昨年は「見守り感謝集会」後に、良くなった。 ○ 不登校の現状について:不登校の児童は数名いるが、保護者と連携を取りながら、児童に寄り添った関わりをしている。 | | | | |

重点目標③【体力の向上及び食育・健康教育の推進に努めます】

| 評価指標 評価項目・数値目標 | 自己評価 | 結果の考察及び改善策等 |
|--|------|--|
| 1 体力向上プランに基づいた運動の習慣化、姿勢指導(立腰の定着) 2 家庭と連携した基本的な生活習慣の育成(早寝・早起き・朝ご飯・保健指導) 3 望ましい食育活動の推進(食育) | B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の体力向上については、児童の実態や課題に焦点を当てた指導を、今後も推進していく。 外遊びは、個に応じた外遊びの推奨をさらに進めていく。 ○ 感染症の流行に際しては、マスクの着用や感染防止のための家庭への協力の呼びかけ等を行い、健康で安全な校内環境を整えた。 児童の健康や性に関する指導を進めてきた。 ○ 給食指導の時間や授業などで、食育に関する指導を栄養教諭と担任が連携しながら指導を行うことができた。残食はほとんどなく、時間内に食べ終えることができる児童が多い。望ましい食習慣について、今後も家庭への啓発を進めていく。 |

評価 AAAAABBB⇒B

学校運営協議会委員コメント

- 委員として運動会に参加すると、生徒達の元気と明るさに、いつも元気をもらってくる。生徒達の各競技に全力で取り組む姿勢にいつも心を打たれる。運動会を実際に企画運営される先生方やPTAの皆さんにとっては大変な負担と心労のかかる仕事ではあるが、一人一人の生徒にとっては懐かしい思い出として残るので、これからもよろしくお願ひしたい。コロナはだいぶ下火となってきたので、少しずつ校外(課外)活動も増やしてほしい。現今の課外活動は、充分評価に値する。
- 朝や昼休みなどに積極的に外に出て体を動かしたり、運動会の様子などから楽しみながら運動をしているように思う。
- 地産地消を目指した食育教育は取り組まれていると認識しているが、伝統的な食文化と現代の食文化の融合も図ってみてはいかがでしょうか。
- 体力向上について⇒その日の退庁等を考慮してもらえるとありがたいです。
感染症予防について⇒マスクの正しい知識を伝えてほしい。息苦しい状態での激しい運動はX(ダメ)
給食指導について⇒残食がほとんどないことはとても素晴らしいことです。継続を願います。
- 運動会の内容、どの生徒もよく頑張っている。
- 外遊びをしている子どもが以前と比べて多くなってきてる。特に、自転車、スケボー等が目に付く。ただ交通事故には気を付けてほしい。体力向上には、大いに役立っていると思う。強いて言えば、もっと山遊びを推奨したい。朝ご飯を食べていない子どもがいるらしいが、親御さんとの連絡、つながりを今一度見直して解決できないか。
- 休み時間など、よく外で遊んでいると思います。朝ごはんについては、「食べない」のか「食べさせない」のか「食べさせることができない」のか、気になる所です。

学校運営協議会での協議

- 朝ごはんについて:ほとんどの児童はきちんと食べているが、食べてこない児童がどのような理由で食べてこないのかが気になる。
- 給食費について:今年度途中で値上げしたが、昨今の物の値上がりを考えると、来年度も値上げをする必要がありそうである。

重点目標④【家庭や地域との連携をさらに深めます】

| 評価指標 評価項目・数値目標 | 自己 評価 | 結果の考察及び改善策等 |
|--|----------|--|
| <p>1 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)及び地域学校協働活動の充実</p> <p>○地域があつて学校がある～保護者や地域が教育活動に関わりやすい学校の在り方</p> <p>○地域人材と連携した「ふるさと教育」「キャリア教育」(総合的な学習の時間等)</p> <p>2 「幼・保・小・中・高」、「家庭・地域」、「関係機関・団体・企業」等との連携</p> <p>3 PTA活動の充実、地域活動への協力</p> <p>4 子どもの危機管理能力の育成(防災教育、避難訓練等)</p> | B | <p>○ 地域の方の協力を得て、伝承活動や地域学習を進めている。地域学習では、地域の方だけでなく、保護者や関係各所の協力を得ながら学習を進めることができた。今後もさらに、キャリア教育・地域学習を更に推進していく。</p> <p>○ 学年に応じて、幼稚園や保育園、小学校、中学校、高校と積極的に連携することができた。</p> <p>○ 4年生で行った防災教育や学期ごとの避難訓練を通して、児童の危機管理能力の育成に努めることができた。</p> |

評価 AAAABBB→B

学校運営協議会委員コメント

- 先日の学校運営協議会で、本校の生徒達が地域社会に出かけて行き、地域の人々との様々な交流を通して、社会学習を今年もしていることを知った。このような実地教育は、町の実情を知り町の人々との交流になるので、今後もさらに発展させてほしい。
- 各学年、積極的に地域学習を行っている。また、関わった地域の方々も喜んでいて、地域と良好な関係を築いていると思う。今後は学校から何か地域に恩返しできるとよいと思う。可能であれば、学校運営協議会に、更に幅広い世代の方や各種団体の方を取り込んでいけたら良いと思う。
- 防災教育では、実際に津波などの実感がないので、社会人として都市部に生活基盤を移した時の対応力を育てるのは、困難が伴うと思われる。
- 今後も神楽の伝承を続けていただきたい。
- 運動会での神楽、棒術(道行き)、又彌りもの作り等、今年も見ていて感動した。これからも伝承活動、地域学習の幅を広げていくと良い。地域の人にとっては、学校に出向く事は子どもとの会話もできる貴重な機会である。もう少し、さらに充実させては。最近は、各地区で数々の災害が発生している。「転ばぬ先の杖」、こういった防災教育・避難訓練も大切な事。危機管理能力の向上、大いに賛成。
- 下堂園コーディネーターさんのおかげで様々な体験や学習が出来ていると思います。「地域があつて学校がある」とありますが、「学校があるから地域がある(盛り上がる)」と感じている方も多いいると思います。私も可能な限り、お手伝いします。
- 特になし。

学校運営協議会での協議

- 高千穂町へのインバウンド(訪日外国人)について:町をあげての取組を計画中である。
- 町内の外国人就労者について:本人や家族等を学校へ招いて交流をすることで、相互理解を深めると良い。

重点目標⑤【教職員一人一人が、自らの資質向上に努めます】

| 評価指標 評価項目・数値目標 | 自己 評価 | 結果の考察及び改善策等 |
|--|----------|---|
| <p>1 指1 資質の向上 ○OJT…主題研究、教え合い、見せ合い、声かけ あい、情報交換など ○Off-JT…個人研究、研修会や講座への参加 「参:新しい研修制度 教員育成指標」</p> <p>2 ワークライフバランス(私生活と仕事の両方の充実) →「生きがい」「働きがい」 (私生活)リフレッシュ(自分のための時間)、家族 孝行(家族と過ごす時間)等 (仕事)チャレンジ(積極的な資質向上)、楽しみ 発掘(感動的場面、児童変容)等</p> | B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 11月に行われた町教育研究会では、代表者の授業を部会全員で作り上げることができた。日頃から指導法の情報交換はできている。今後も更に、お互いの授業を見合う環境づくりをしていく。 ○ 研修をとおして、働き方改革への意識を高めることができた。また、業務内容の見直しを更に進め、個人の労働時間を軽減することで、教師一人一人がより魅力ある人間となるように、働き方改革を推進していく。 |

評価 AABBBB 無⇒B

学校運営協議会委員コメント

- 教職員の皆さんのが、己の資質向上のため、日々努力されていることに敬意を表します。授業参観に出席した際にも、先生方の授業方法の質の高さに感心したものです。今後もまず健康に充分配慮をなさって頑張ってほしい。町教育研究会には、できれば学校運営協議会委員も参加させてほしい。
- 若い先生方が多いが、工夫しながら授業や学校運営に取り組んでいると思う。児童にとっては一番身近な働く大人。大変だと思うが、将来あんな風になりたいと思わせる姿を見せていただきたい。
- 資質の向上には異論はないが、ワークライフバランスについてはどうなのか。働き過ぎで家族を犠牲にしていないか心配である。
- 教員不足には、労働環境の過酷さがあります。職場環境の更なる改善を要望します。
- 先生方は、自らの資質向上には大いに努力されていると思う。確かに他の職業とみると私生活、自分の時間が少なく、仕事の時間が多いくらいみている。お互いに共有できるところがあつたら、協力できる枠内で協力しあつたらと思う。
- 先生方の資質向上については十分だと思います。ただ昨年も記入しましたが、残業の多さが気になるところです。
- 特になし。

学校運営協議会での協議

- 本校の教員構成について:若い(20代)教員が多く、学級担任の半数以上を占めている。仲間同士で学び合う雰囲気ができているので、今後もOJT(先輩教員と後輩教員の教え合い、学び合い)を推進していく。